

事務事業評価表

担当課	総務部	情報交通課	情報化推進係	事務事業No.	12196
事務事業名	美麻情報センター管理運営費			会計	一般会計
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	2 項 1 目 12
施策目標	高度情報化社会への対応				
後期計画掲載頁	86	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等 過疎地域自立促進計画					

事業の概要
 平成23年4月から大田市ケーブルテレビが開始され、美麻情報センターは八坂・美麻地区への放送波の中継局としての管理運営を行っている。
 また、テレビケーブル網を活用したインターネットサービス事業では、インターネット運営会社と両地区利用者間の中継局としての機能も担っており、設備の維持管理、利用者情報の管理を行っている。

事業の目的
 平成22年度まで美麻八坂ケーブルテレビとして運営していた設備を大田市ケーブルテレビの配信中継局に位置づけ、管理運営を行うことにより、地域における高度情報化を図る。
 また、付帯事業として行っていたインターネットサービスについても、従来から提供してきたサービスメニューの低下を招かないよう、継続して管理運営を行う。

事業内容
 大田市ケーブルテレビから配信されるテレビ番組を、八坂・美麻地区へ配信するための中継設備の維持管理とともに、インターネットサービスの中継局としての維持管理及び利用者情報の管理業務を行っている。
 H24はインターネット用設備であるヘッドエンドモデムの更新を実施したことにより事業費が増加した。
 なお、インターネットサーバの老朽化に伴い、保守の対象から外れたため、H26はサーバ保守委託契約を行わない。

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	1,062 千円	7,488 千円	4,225 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	起債	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	
	一般財源	1,062 千円	7,488 千円	4,225 千円	

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①	ヘッドエンドモデム更新	千円	—	3,353	—	—	—	—
②								
③								

成果指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①	施設利用料	千円	912	1,099	937	1,056	88.7%	888
②	サーバ保守委託料	千円	410	410	389	410	94.9%	—
③								

2. 数値で表せない効果
 インターネットを利用するには、ケーブルテレビへの同時加入が要件となることから、テレビ契約者数の維持へとつながっている。

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
評価	高い	普通	普通	重複なし	普通	改善の余地あり	
点数	3	2	2	3	2	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	今後の方向性	継続	インターネットサービスは、ケーブルテレビの配信設備を利用しているため、設備の故障に伴う接続障害が起き始めていることから、設備の光ケーブル化の検討が必要である。 また、八坂・美麻地区でのNTT光ケーブル網でのインターネットサービスが開始されたことに伴い、利用動向を注視する必要がある。				
	評価点合計	14	18				

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	総務	係	事務事業No.	121122				
事務事業名	美麻支所一般管理経費				会計	一般会計					
まちのテーマ					款	2	項	1	目	12	
施策目標											
後期計画掲載頁				頁	個別計画						頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等			

事業の概要	美麻支所の管理運営
-------	-----------

事業の目的	美麻支所の管理運営
-------	-----------

事業内容	<p>美麻支所に係る庁舎維持管理、夜間警備及び事務機器保守等の管理運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 委託料1,437千円（支所警備業務委託料 605千円、合併浄化槽保守点検委託料438千円 等） 光熱水費1,931千円 修繕料721千円（コピー機使用料302千円、倉庫シャッター修繕265千円 等） 臨時職員賃金4,436千円
------	--

事業費	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
		総事業費（決算額）	9,674 千円	10,212 千円	10,250 千円
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	9,674 千円	10,212 千円	10,250 千円

活動指標			平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
	①					-	-	
	②					-	-	

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
	①					-	-	
	②					-	-	
2. 数値で表せない効果		(指標)						

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	普通	重複あり	普通	適正である
	点数	3	3	2	1	2	3
	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
今後の方向性	継続	美麻支所全般の管理であり、経常経費の削減に努めている。					
評価点合計	14 / 18						

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	総務	係	事務事業No.	121123				
事務事業名	美麻支所車両管理経費				会計	一般会計					
まちのテーマ					款	2	項	1	目	12	
施策目標											
後期計画掲載頁				頁	個別計画						頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等			

事業の概要	美麻支所所有の車両管理											
事業の目的	美麻支所所有の車両の適正な管理											
事業内容	美麻支所所有の車両管理											
事業費	年度		平成23年度			平成24年度			平成25年度			
	総事業費（決算額）		254千円			294千円			444千円			
	財源内訳	国庫支出金		千円			千円			千円		
		県支出金		千円			千円			千円		
		起債		千円			千円			千円		
		その他財源		千円			千円			千円		
		一般財源		254千円			294千円			444千円		
活動指標	指標名		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値 H25	達成率 (%)	次年度目標値 (H26)			
	①						-	-				
	②						-	-				
	③						-	-				
成果指標	1. 数値で表せる指標		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値 H25	達成率 (%)	次年度目標値 (H26)			
	指標名											
	①						-	-				
	②						-	-				
2. 数値で表せない効果		(指標)										
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）												

評価	項目	必要性		有効性		効率性				
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	普通	低い	普通	重複あり	普通	改善の余地あり			
	点数	2	1	2	1	2	2			
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）								
	やり方改善									
	評価点合計	美麻支所所有の車両管理について、エコドライブを心掛けるなど、効果的な運行と維持管理により、更なる経常経費の節減に努める。								
	10	/ 18								

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	総務	係	事務事業No.	121125
事務事業名	美麻地域振興事業				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	2	項 1 目 12
施策目標	地域の一体感の早期確立						
後期計画掲載頁	42	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	23	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等 過疎地域自立促進計画

事業の概要
 過疎計画に基づき事業を推進。
 定住促進奨励金（空き家入居）、住宅新築資金等利子補給、過疎地域就職促進、起業支援、地域づくり事業などへの補助金交付と事業支援を行っている。

事業の目的
 過疎化による人口減少と高齢化が地域活力の低下を招き、学校や保育園など特色ある子育て環境の維持が困難となること が危惧される状況であることから、地域振興に努める。

事業内容
 従来より実施してきた元気アップみあさっ子（生活習慣改善と体力・気力・学力向上）、住宅新築資金等利子、就職促進、有害鳥獣対策、地域づくり事業等への補助金に加え、H24より起業支援、定住促進奨励補助金を、H25は過疎地域起業支援補助金及び巡回指導車購入費用の新規事業を盛り込み、地域活性化への支援を行っている。

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	2,417 千円	8,907 千円	11,047 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	起債	1,200 千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	
	一般財源	1,217 千円	8,907 千円	11,047 千円	

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①	住宅新築等利子補給	世帯		1	1	2	50.0%	2
②	起業支援	人	—		1	2	50.0%	1
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	定住人口の増加	人			9	10	90.0%	10
②	産業の創出	事業	—		1	2	50.0%	2
③	交流人口	人	2,830	2,100	2,050	2,000	102.5%	2,000
	2. 数値で表せない効果 （指標） 地域自治組織等を支援することにより、地域活動の継続に繋がっている。							

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）
 少子高齢化による過疎化は全国的な現象であり、過疎化を止めることは難しいが、鈍化させる努力を継続して行う必要がある。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
評価	高い	高い	高い	重複あり	普通	適正である	
点数	3	3	3	1	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	今後の方向性	拡大	過疎地域の活性化のためには、ソフト・ハード両面での有効な事業推進が必要であり、関係各課と連携して計画的に事業を進めていく。 H24に要綱を策定した起業支援事業については、広報誌等で情報発信を行いながら、地区内企業への周知にも努める。				
	評価点合計	15	18				

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	総務	係	事務事業No.	121126
事務事業名	メンドシーノ交流事業				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	2	項 1 目 12
施策目標	地域間交流の促進						
後期計画掲載頁	47	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	4	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等 過疎地域自立促進計画

事業の概要
 1980年の芸術交流が基となり、旧美麻村とアメリカ・メンドシーノとの間で締結した国際姉妹都市を、市村合併に際して大町市が継承。
 平成4年以降、小学生を中心とした訪問団の相互派遣事業を隔年で実施している。
 交流事業は、実行委員会とボランティアグループが積極的に関わり、企画・運営されている。

事業の目的
 将来を担う若者に国際交流を体験させることにより、国際感覚を身につけ、積極性を養う機会とすることが期待される。
 また、事業を通じ、子どもから高齢者までが参画し、市民レベルでの国際交流を推進することで、地域活性化に寄与する。

事業内容
 交流事業負担金
 ・受入時 700千円、派遣時 2,700千円
 ・旅費 派遣時 約900千円

事業費	年度	平成23年度		平成24年度		平成25年度	
		総事業費(決算額)	700千円	3,465千円	700千円		
財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円			
	県支出金	千円	千円	千円			
	起債	千円	千円	千円			
	その他財源	千円	千円	千円			
	一般財源	700千円	3,465千円	700千円			

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①	受入人数	人	9	—	23	21	109.5%	—
②	派遣人数	人	—	34	—	—	—	30
③								

成果指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	交流事業参加者	人	420	—	445	450	98.9%	—
②	ホストファミリー	件	7	—	12	12	100.0%	—
③								

2. 数値で表せない効果
 (指標)
 事業に参加した児童の交流ボランティア活動が促進、広域化している。また、自治体国際化協会の姉妹自治体優良事例に選定される等実績も認められてきている。

【備考】(事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由)
 航空運賃の燃油税が上昇したことから、メンドシーノでの宿泊を全泊ホームステイにする等、経費の削減に努め、予算内で事業継続ができるように努めている。
 また、随行ボランティアやホストファミリーへの協力などの広域化も進み、協力者が増加してきている。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	3	3	2	3

評価
 今後の方向性
 拡大
 評価点合計 17 / 18
 担当部課等のコメント(事業改善案等)
 現在の交流事業の全市的な拡大と、交流事業を核とした新たな交流への支援など、他のまちづくり事業との連携による相乗効果を目指す。
 ボランティアネットワークによる文化交流事業や中心市街地活性化事業にもつながるアートショーの開催など、市民の主体的な交流活動に繋がるよう支援を行う。

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	産業建設	係	事務事業No.	1211212
事務事業名	美麻定住促進事業				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	2	項 1 目 12
施策目標	移り住む人をやさしく受け入れるまち						
後期計画掲載頁	48	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	24	年	～	平成	26	年 根拠法令・要綱等

事業の概要	定住促進住宅の整備								
事業の目的	住宅の整備により定住を促進し、人口増をはかる。								
事業内容	平成25年度 桜台団地 住宅3棟建設 平成26年度 千見本村団地3棟用地買収、造成工事 平成27年度 千見本村団地3棟建設予定								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		千円		1,082 千円		52,353 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
		一般財源		千円		1,082 千円		52,353 千円	
活動指標	指標名		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値 H25	達成率 (%)	次年度目標値 (H26)
	①	定住促進住宅建設	棟			5	3	166.7%	—
	②								
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
	①	住宅入居者数			17	12	141.7%	—	
	②								
2. 数値で表せない効果		(指標)							
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	点数	高い	普通	高い	重複なし	普通	適正である
		3	2	3	3	2	3
	今後の方向性	方向性 継続 評価点合計 16 / 18 平成26年度 千見本村団地3棟用地買収、造成工事 平成27年度 千見本村団地3棟建設予定					

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	産業建設	係	事務事業No.	16123				
事務事業名	美麻地籍調査事業				会計	一般会計					
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち				款	6	項	1	目	2	
施策目標	均衡ある発展をめざした土地利用の推進										
後期計画掲載頁	86	頁	個別計画							頁	
事業期間	平成	15	年	～	平成	35	年	根拠法令・要綱等			国土調査法

事業の概要	一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量する調査。								
事業の目的	課税の適正化、公共事業の計画策定及び実施の円滑化等を目的として実施する。								
事業内容	毎年10ha～20ha程度に区画し、計画的に実施。								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		6,488 千円		6,141 千円		4,696 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		4,245 千円		3,150 千円		2,055 千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
一般財源		2,243 千円		2,991 千円		2,641 千円			
活動指標	指標名		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値 H25	達成率 (%)	次年度目標値 (H26)
	①	新行1区	ha	10	10	—	—	—	—
	②	新行2区	ha		10	10	10	100.0%	10
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値 H25	達成率 (%)	次年度目標値 (H26)
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
	①	新行1区	ha	10	10	—	—	—	—
	②	新行2区	ha		10	10	10	100.0%	10
2. 数値で表せない効果		(指標)							
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	普通	高い	重複なし	普通	適正である
点数	3	2	3	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	今後の方向性	継続	美麻地区内の宅地及び農地を主として調査を行っている。あらゆる生産の基本的要素である土地の所有、利用関係を明らかにして地籍の明確化を図り、課税の適正化を目的としており必要性、有効性は高いと考える。また、市の財産である法定外公共物（赤線、青線）の明確化にも寄与する。今後は、未調査地区について計画的な調査を行うとともに調査済地区についての速やかな登記完了を最重点事項として事業を進める。				
	評価点合計	16	18				

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	産業建設	係	事務事業No.	161319
事務事業名	美麻農産物加工所管理事業					会計	
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち					款	6 項 1 目 3
施策目標	農地集約化と特色ある農業への転換						
後期計画掲載頁	59	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	4	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要	美麻農産物加工所の施設、設備等の経年劣化に伴う修繕、交換等を行う (平成25年 照明器具19基更新)								
事業の目的	美麻農産物加工所の施設、設備の適正な管理。								
事業内容	施設の維持管理（委託・指定管理等）								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		964 千円		609 千円		499 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
		一般財源		964 千円		609 千円		499 千円	
活動指標	指標名		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値 (H25)	達成率 (%)	次年度目標値 (H26)
	①	美麻農産物加工所	箇所	1	1	1	1	100.0%	1
	②								
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	H25 (%)	(H26)	
	①					-	-		
	②					-	-		
	2. 数値で表せない効果		(指標) 美麻農産物加工所の運営により、地域の雇用、地域の活性化に寄与。						
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由									

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	点数	普通	普通	普通	重複なし	普通	改善の余地あり
		2	2	2	3	2	2
	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	今後の方向性	やり方改善 評価点合計 13 / 18 現在、美麻農産物加工所の、今後の運営について払い下げ等の方向で検討中である。					

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	産業建設	係	事務事業No.	16152
事務事業名	ふたえ市民農園管理費				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	6	項 1 目 5
施策目標	地域間交流の促進						
後期計画掲載頁	47	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	9	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要
 農業従事者の高齢化等により増加傾向にあった耕作放棄地、遊休荒廃農地の活用を図るため、平成9年に「ふたえ市民農園」が開設された。
 全体面積4.5ha管理棟1棟（木造2階一部鉄骨615㎡）・休憩施設付農園49棟（木造平屋一部ロフト約50㎡）
 1区画当たり年間390,000円 共益費年間12,000円（光熱水費別）

事業の目的
 ①豊かな自然に恵まれた地域資源を活用し、都市住民との交流と共生を図るとともに、地域の振興と活性化に寄与する。
 ②遊休荒廃農地の利用。

事業内容
 特定非営利活動法人 山里舎に委託し、ふたえ市民農園（管理棟1棟・休憩施設49棟）の管理を実施している。

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	18,353 千円	19,232 千円	19,320 千円
	国庫支出金				
	県支出金				
	起債				
	その他財源	23,145 千円	18,837 千円	22,036 千円	
	一般財源	-4,792 千円	395 千円	-2,716 千円	

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①	契約休憩施設数	棟	49	42	47	47	100.0%	46
②								
③								

成果指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	休憩施設契約率	%	100	100	100	100	100.0%	100
②								
③								

2. 数値で表せない効果
 (指標)

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）
 定住促進係と連携し、休憩施設3棟を「お試し暮らし体験用」として利用している。
 （平成24年度2棟、平成26年度1棟）

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	普通	普通	重複なし	高い	適正である
点数	3	2	2	3	3	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	継続 ふたえ市民農園においては、開設から17年目となり、各所に不具合が生じているため計画的に修繕を実施したい。 利用者の高齢化等により25年度末で6棟空き区画の発生が見られたが、現在は4棟の空き状況となった。関係機関と協力し空き区画の解消を図りたい。				
	評価点合計	16 / 18				

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	産業建設	係	事務事業No.	16153
事務事業名	おおしお市民農園管理費				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	6	項 1 目 5
施策目標	地域間交流の促進						
後期計画掲載頁	47	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	14	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要
 農業従事者の高齢化等により増加傾向にあった耕作放棄地、遊休荒廃農地の活用を図るため、平成14年に「おおしお市民農園」が開設された。
 全体面積 1.7ha 管理棟1棟(木造平屋建205㎡)・休憩施設付農園36棟(木造平屋建50㎡/1棟)
 1区画当たり年間390,000円 共益費年間12,000円(光熱水費別)

事業の目的
 都市住民等に「農業・土・自然」と親しむ場を提供し、都市と農村の住民交流を図ることにより、地域の振興と活性化に寄与する。

事業内容
 北アルプス広域シルバー人材センターに委託し、おおしお市民農園(管理棟1棟・休憩施設36棟)の管理を実施している。

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費 財源内訳	総事業費(決算額)	11,539千円	5,722千円	5,413千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	13,727千円	13,098千円	13,779千円
	一般財源	-2,188千円	-7,376千円	-8,366千円

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
指標名		実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)	
①	契約休憩施設数	棟	35	34	32	35	91.4%	34
②								
③								

1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
指標名		実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)	
①	休憩施設契約率	%	97	94	91	97	93.8%	94
②								
③								
2. 数値で表せない効果 (指標)								

【備考】(事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由)
 平成24年度から定住促進係と連携し、休憩施設1棟を「お試し暮らし体験用」として利用している。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	普通	普通	重複なし	高い	適正である
点数	3	2	2	3	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント(事業改善案等)					
	今後の方向性	継続	おおしお市民農園においては、開設から12年目となり各所に不具合が生じているため計画的に修繕を実施したい。 利用者の高齢化等により25年度末で7棟空き区画の発生が見られたが、現在は4棟の空き状況となった。関係機関と協力し空き区画の解消を図りたい。				
	評価点合計	16	/ 18				

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	産業建設	係	事務事業No.	16319
事務事業名	美麻市有林管理育成事業				会計	一般会計	
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち				款	6	項 3 目 1
施策目標	地域の特性を生かした林業・水産業の振興						
後期計画掲載頁	60	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	19	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要	市有林の管理・育成								
事業の目的	市有林箇所の草刈りや冬囲いをすることにより市有林の管理育成を行う。								
事業内容	市有林について、毎年委託業務により草刈り、冬囲い等、管理を行っている。								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		220 千円		216 千円		203 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
		一般財源		220 千円		216 千円		203 千円	
活動指標	指標名		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
				実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
	①	植樹祭跡地	m ²	5,000	5,000	5,000	5,000	100.0%	5,000
	②	川手	m ²	3,000	3,000	3,000	3,000	100.0%	3,000
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
	①	植樹祭跡地	m ²	5,000	5,000	5,000	5,000	100.0%	5,000
	②	川手	m ²	3,000	3,000	3,000	3,000	100.0%	3,000
	③								
	2. 数値で表せない効果		(指標)						
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	普通	普通	普通	重複なし	普通	適正である
	点数	2	2	2	3	2	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	継続	市有林の管理をシルバー人材センター、川手地区に委託し地元住民により適正に管理されている。現状継続が望ましい。					
	評価点合計						
14 / 18							

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	産業建設	係	事務事業No.	171311
事務事業名	美麻観光施設管理費				会計	一般会計	
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち				款	7	項 1 目 3
施策目標	時代とニーズに対応した観光の推進						
後期計画掲載頁	54	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	2	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要	静の桜公園、二重沢公園、青貝公園、麻の館の管理・運営								
事業の目的	各種観光施設の管理・運営								
事業内容	施設の維持管理（委託・指定管理等）								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		3,207 千円		2,298 千円		1,494 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
		一般財源		3,207 千円		2,298 千円		1,494 千円	
活動指標	指標名		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)	
	①	観光施設管理	箇所	4	4	4	100.0%	4	
	②								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)	
	①					-	-		
	②					-	-		
2. 数値で表せない効果		(指標①) 市民の憩いの場である公園等の管理、環境整備を実施し、良好な公園環境を維持できている。							
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

評価	項目	必要性		有効性		効率性		
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	普通	普通	普通	重複なし	普通	適正である	
	点数	2	2	2	3	2	3	
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）						
	継続							
	評価点合計	14 / 18 公園の管理（静の桜公園・二重沢公園・丸山公園・青貝農村公園）は、シルバー人材センターに委託しており、地元住民で管理を行っている。公園管理については、現状継続。						

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	産業建設	係	事務事業No.	171312
事務事業名	美麻温泉宿泊設管理費					会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち					款	7 項 1 目 3
施策目標	時代とニーズに対応した観光の推進						
後期計画登載頁	54	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	25	年	～	平成		年
根拠法令・要綱等							

事業の概要	温泉宿泊施設事業特別会計への繰出金								
事業の目的	ほかほかランド美麻・ほかほかランド美遊の管理・運営								
事業内容	温泉宿泊施設事業特別会計への繰出金								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		7,662 千円		6,447 千円		22,129 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
一般財源		7,662 千円		6,447 千円		22,129 千円			
活動指標	指標名		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)	
	①					-	-		
	②					-	-		
③					-	-			
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)	
	①					-	-		
	②					-	-		
	③					-	-		
	2. 数値で表せない効果		(指標)						
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由									

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	普通	普通	普通	重複なし	普通	適正である
	点数	2	2	2	3	2	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	継続						
	評価点合計	14 / 18					

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	産業建設	係	事務事業No.	18514
事務事業名	美麻住宅管理費				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	8	項 5 目 1
施策目標	移り住む人をやさしく受け入れるまち						
後期計画掲載頁	48	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	25	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等

事業の概要	地域振興住宅の維持管理								
事業の目的	定住促進ビジョンに合わせた「子育て世代」や「若者世代」をメインターゲットに過疎地域への定住促進と地域の活性化を図る。								
事業内容	旭団地（平成12年度建設 低層耐火構造 8戸） 桜台団地（平成25年度建設 木造二階建 3戸） 川手住宅（昭和51年度建設 木造二階建 1戸） 湯の海団地（昭和51年度建設 木造平屋建 2戸） 計14戸の維持管理を実施								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		千円		千円		1,135 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
		一般財源		千円		千円		1,135 千円	
活動指標	指標名		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値 (H25)	達成率 (%)	次年度目標値 (H26)
	①	地域振興住宅	棟	9	9	12	12	100.0%	14
	②								
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	H25 (%)	(H26)	
	①	地域振興住宅契約	%	100	100	100	100	100.0%	100
	②								
2. 数値で表せない効果		(指標)							
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	点数	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
		3	3	3	3	2	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	継続						
	評価点合計	建築年度の古い建物については各所に不具合が生じているため計画的に修繕を実施したい。					
	17 / 18						

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	産業建設	係	事務事業No.	751121
事務事業名	美麻温泉宿泊施設管理費					会計	
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち					款	1 項 1 目 2
施策目標	時代とニーズに対応した観光の推進						
後期計画登載頁	54	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	5	年	～	平成		年
根拠法令・要綱等							

事業の概要	ほかほかランド美麻・ほかほかランド美遊の管理・運営（一般会計繰入金）								
事業の目的	施設、設備の適正な管理								
事業内容	施設の維持管理（指定管理） ・修繕費（灯油ボイラー更新9,786千円・受変電施設修繕ほか 4,228千円） ・委託料（ほかほかランド美遊指定管理料2,100千円・漏湯調査業務1,145千円） ・使用料及び賃借料（ほかほかランド美遊賃借料440千円） ・備品購入費（業務用オープンレンジほか1,384千円） ・補償補填及び賠償金（ほかほかランド漏湯損失補償3,045千円）								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		千円		千円		22,129 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
一般財源		0 千円		0 千円		22,129 千円			
活動指標	指標名		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
				実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
	①	施設・設備維持管理	箇所	1	1	1	1	100.0%	1
	②								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
	①					-	-		
	②					-	-		
	③					-	-		
	2. 数値で表せない効果		（指標 ）地元の老人クラブ、自治会、等地域づくり会議等と連携し、様々な行事を実施。地域雇用も優先され、自主事業の内容も充実してきており、地域活性化に寄与している。						
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由									

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	普通	普通	普通	重複なし	普通	適正である
点数	2	2	2	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	今後の方向性	継続	ほかほかランド美麻、及びほかほかランド美遊について、指定管理者制度による管理・運営が行われている。地域と連携した積極的自主事業等の実施により、集客はもちろん、地域活性化のひとつの拠点となるべく取り組む。				
	評価点合計	14	18				